

DCDCコンバータ：TDK Mazda CX-60(2026)搭載 ティアダウン レポート



Mazda CX-60(2026)

引用：
<https://www.mazda.co.jp/cars/passenger/cx-60/>



DCDCコンバータ外観



DCDCコンバータ基板

レポート概要

マツダCX-60 PHEVは、マツダ初の自社開発のSUVであり、2026年の車両では17.8kWhの駆動用バッテリーを搭載し、EV走行距離は約70kmを実現しています。車両価格は540万円～

DCDCコンバータはTDK製を採用、単体のユニットを採用しています。

本ユニットは、水冷構造を採用した小型設計が特徴であり、プレーナートランス、プレーナコイルを多数使用することで、限られた搭載スペースの中で、高い電力密度を実現しています。本レポートでは、ユニットの構造解析、主要デバイス、制御回路、冷却構造、について解析、同等製品であるBosch製DCDCコンバータとの比較も行っています。

※主回路での基板回路レポートを企画中です。お気軽にお問い合わせください。

製品特徴

DCDCコンバータ

- ・サプライヤ：TDK
- ・外形および重量：290 × 165 × 60mm , 3.3kg
- ・定格出力電圧12V、定格出力電流160A
- ・プレーナートランス、プレーナコイルを多数使用

解析内容、レポート価格

1) ティアダウンレポート（分解工程＋主要部品）：¥500,000(税別)

- ・製品分解
- ・搭載主要部品調査
- ・熱対策(TIMの厚み等)、冷却方法へのコメント

※ Bosch製DCDCコンバータとの比較

※基板回路解析についても企画中です。